

## 大分医療センターに関連した新型コロナウイルス感染症に関する知事コメント

令和2年3月25日

21日の会見で、大分医療センターに関連した新型コロナウイルス感染者が2日間で7人確認され、院内でクラスター感染が発生したことを申し上げました。

その際、大分医療センターの医師、看護師などの職員及び入院患者について、全員のPCR検査を実施すると申し上げましたが、本日、その対象者612人(病院職員406人(内訳:医師43人、看護師213人、その他職員150人)、入院患者206人)の検査が終了しましたので、お知らせします。

感染状況の解明のために速やかに検査を行う必要がありましたが、他の検査も多数ある中、迅速に実施できたのは、県や大分市での検査以外に、大分大学医学部附属病院や、さらに福岡県、福岡市、長崎県、長崎市の計4か所の各地方衛生研究所のご協力をいただいたおかげです。感謝申し上げます。

これまでの検査で次のことが判明しました。

昨日までに合計22人の感染が確認された旨申し上げましたが、新たに大分医療センターで看護師2人の感染が確認され、感染者数は24人となりました。24人の内訳は、医師2人、看護師7人、その他職員1人、入院患者3人。そのほか元入院患者9人、元入院患者の転院先である県立病院の看護師1人、そして大分医療センターの看護師の友人1人です。

すでに申し上げましたが、元入院患者9人のうち、7人は、(公表順に)大分リハビリテーション病院、県立病院、大分岡病院、坂ノ市病院、佐賀関病院、臼杵市医師会立コスモス病院の、6つの病院に転院後、感染が確認されました。その転院先の濃厚接触者等について、これまで(24日現在)、先程の612人のほかに257人の検査をした結果、感染が確認されたのは、県立病院の看護師1人だけでした。今のところ、これ以上の感染の広がりはありません。

なお、現在も大分医療センターから転院された方などで、心配な方については、検査を続けているところです。

今回のクラスター発生を受け、21日から派遣されている国のクラスター対策班の専門家の助言をいただいています。

その見解に基づき、3月1日から19日という期間に大分医療センターを受診された方で、咳や発熱といった症状のある方には、保健所への相談を呼びかけています。

県民の皆さまにお願いします。

1. これまで感染者が関係した医療機関のうち、県内2例目、3例目のご夫婦が受診した藤野循環器科内科医院と、8例目の男性が転院した大分リハビリテーション病院については、濃厚接触者がいなかったことが確認されており、何の問題もありません。当該医療機関の職員や患者、そのご家族に対して、無用の心配をなさないようお願いします。

2. その他の医療機関についても、濃厚接触者等の検査を着実に進めるとともに、必要な消毒等、通常の医療機関以上に感染防止対策を徹底しています。

現時点で、県内でのクラスター感染は、大分医療センター関連以外に確認されていません。今後ともクラスターの連鎖をはじめ、新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるため、最大限の努力をして参ります。

最後に、県民の皆様には、引き続き、以下の点についてお願いします。

(1) 発熱や風邪症状などがある方は、無理をせずに仕事や学校を休み、外出を控えていただきたいと思います。

また、受診される場合には、まずは、かかりつけ医に電話して症状を伝えてから受診してください。風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合や、強い倦怠感や息苦しさがある場合は、最寄りの保健所に相談してください。医療機関におかれても、新型コロナウイルスの感染の可能性について、さらに注意をし、疑われる場合には、PCR検査の実施について、保健所に躊躇なくご相談いただきたいと思います。また、感染防止対策を徹底していただくよう重ねてお願いします。

(2) 症状のない方についても、効果的な予防策である入念な手洗いや咳エチケット等の徹底をお願いします。

特に、高齢者や持病のある方は、不要不急の外出をしないよう、強くお願いします。また、若い方についても、重症化リスクは高くありませんが、無症状、又は症状の軽い方が、気づかないうちに感染を広げてしまう事例が全国で見られています。

そのため、皆様には、(ア)換気の悪い密閉空間で、(イ)人が密集し、(ウ)近距離での会話が行われるという、3つの条件が重なる場所を避けるよう、改めて注意を喚起します。年度末や春休みなど、人の動きが活発になる時期ではありますが、できるだけ必要最小限の行動を心がけていただきたいと思います。

県民の皆様には、ご不便をおかけしますが、感染拡大防止に向けて、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。